

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●C.ルメール騎手のJRA通算勝利数が史上第10位となる

9月21日(土)の4回中山6日・第9レースとして行われたカンナSではエコロジックが1着となり、同馬に騎乗したC.ルメール騎手(栗東・フリー)のJRA通算勝利数が1919勝となりました。これは藤田伸二元騎手の1918勝を抜き、JRA史上単独第10位の記録となります。

●2歳芝1200mの中央競馬レコードタイム更新

9月21日(土)の4回中山6日・第9レースとして行われたカンナSではエコロジックが1分07秒2のタイムで勝利しました。これは2001年12月16日(日)の5回中山6日・第11レースとして行われたフェアリーS(GⅢ)でサーガノヴェルが記録した1分07秒8を更新する中山競馬場2歳芝1200mのコースレコード、ならびに2020年8月16日(日)の2回小倉2日・第1レースの2歳未勝利でフリードが記録した1分07秒5を更新する2歳芝1200mの中央競馬レコードタイムとなります。

●セブテンパーセール開催

9月17日(火)から19日(木)にかけて、北海道新ひだか町の北海道市場においてサラブレッド1歳市場の「セブテンパーセール(主催:日高軽種馬農業協同組合)」が開催されました。上場された534頭(牡231頭・牝303頭)のうち429頭(牡197頭・牝232頭)が落札され、売却率は80.34%、売却総額は22億5522万円。最高価格をつけたのは、牡馬がアンジェリーブル2023(父ミスターメロディ/近親に米G1馬エセーナなど)で2750万円、牝馬がハーランズルビー2023(父シルバーステート/母は米G1馬・半兄は日経新春杯勝ち馬モズベッコ)で2145万円でした(金額はいずれも税込)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●日本テレビ盃でウィリアムバローズがウシュバテソーロを下す

日本テレビ盃(JpnⅡ、9月25日、船橋、1800m)は、先手を取った3番人気のウィリアムバローズ(坂井瑠星騎手、牡6歳、父ミッキークーアイル)が、単勝1.4倍で圧倒的人気のウシュバテソーロの追撃を1馬身差で抑えました。メイショウハリオが3着に入り、2番人気のデルマソトガケは5着に敗れています。

●ディクテオンが白山大賞典(金沢)圧勝で3度目の重賞制覇

白山大賞典(JpnⅢ、9月23日、金沢、2100m)は、1周目の直線で3番手に上がったディクテオン(横山和生騎手、騾6歳、父キングカメハメハ)が向正面半ばで早々と先頭に立つと、逃げた3番人気のダイシンピスケスを5馬身引き離し、1番人気に応えました。サンマルパトロールが3着、2番人気のメイショウフンジンが4着、テンカハルは5着でした。

●ジャパンダートCでフォーエバーヤングとラムジェットが対決

ジャパンダートダービーから改称されたダート三冠の最終関門、ジャパンダートクラシック(JpnⅠ、3歳、10月2日、大井、2000m)は、フォーエバーヤングとラムジェットの初対決が最大の焦点となり、サトノエピック、サンライズジバング、ミッキーフアイト、カシマエスパーダ、サントノーレ(大井)、ポッドロゴが続きます。

●アーテルアストレアがレディスプレリュード(大井)連覇を狙う

レディスプレリュード(JpnⅡ、10月1日、大井、1800m)は、昨年の覇者アーテルアストレアが中心、グランブリッジ、アイコンテラーが続き、ライオットガール、ヴィブラフォンまでが争覇圏内と考えられます。

●クロジシジョー、シャマル5が参戦、10月3日の東京盃(大井)

東京盃(JpnⅡ、10月3日、大井、1200m)は、クロジシジョーとシャマルが主力を形成、以下チカッパ、エートラックスの3歳勢、ヘリオスの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ペンシルベニアダービー〜シーズザグレイが復活の勝利

現地9月21日にアメリカ・ペンシルベニア州のパークスレーシング競馬場で行われたG1ペンシルベニアダービー(3歳、ダート1800m)は、J.トーレス騎手を背に逃げたシーズザグレイ(牡3歳、父アロゲート、D.ルーカス厩舎)が直線入り口で並びかけてきたG1サンタアニタダービーの勝ち馬ストロングホールドを突き放して3馬身3/4差で優勝しました。勝ったシーズザグレイは今年5月にG1ブリークネスS(ダート1900m)を制覇。その後はG1ベルモントS7着、G2ジムダンディS4着と精彩を欠いていましたが、鮮やかに巻き返しました。

●G1コティリオンS〜ソーピードアンナが4つ目のG1制覇

上記G1ペンシルベニアダービーの1レース前に行われたG1コティリオンS(3歳牝、ダート1700m)は、B.ヘルナンデスJr.騎手の手綱で3番手でレースを進めたソーピードアンナ(牝3歳、父ファストアンナ、K.マクピーク厩舎)が、直線でG2ブラックアイトスーザンSの勝ち馬ガンソングとの競り合いを制してクビ差で優勝しました。勝ったソーピードアンナは5月のケンタッキーオークスを皮切りにエイコンS、CCAオークスとダート1800mのG1を3連勝。牡馬に挑んだ前走のG1トラヴァーズSはフィアースネスのアタマ差2着でした。